

第11回県中学校総合文化祭テーマ最優秀賞受賞

11月22日から26日まで開催された県中学校総合文化祭のテーマに徳吉茜さん(上郷中)が考案した「つなぐ喜び創る輝き一生み出そう私たちの新たな物語」が最優秀賞を受賞しました。県内39校850点の応募の中から選出されたもので、徳吉さんは

「これまで受け継がれてきた伝統を守りながら、新しいものを創り上げていこうという思いをまとめてみました。受賞は夢のようです」と顔をほころばせました。徳吉さんのテーマが記されたポスターやチラシは各学校に配布されました。



徳吉茜さん＝上郷中3年＝

※敬称略

◆市長杯争奪11回少年少女空手道選手権大会(12月23日、総合福祉センター) ※()は所属スポ少年

【形個人】

◎小学男子1・2年、女子2年 2位＝松田郷佑(遠野)、3位＝宮澤圭汰(上郷)、守口佳希(遠野)

◎男子 ▷小学3・4年 2位＝多田悠馬(上郷) ▷小学5・6年 3位＝八重樫俊平(宮守) ▷中学 2位＝菊池瑠偉(遠野)、3位＝菊池弥寛(遠野)、小嶋心誠(遠野)

◎女子 ▷小学3・4年 1位＝宮澤花畝(上郷)、2位＝長山美空(遠野)、3位＝小嶋日妃音(遠野) ▷小学5・6年 3位＝多田菜(上郷)、加藤みちか(上郷) ▷中学 2位＝綾織舞(遠野)、3位＝中世古ひかり(遠野)、石懸麻唯加(遠野)

【組手個人】

◎就学前男子 1位＝守口和希(遠野)、2位＝斎藤快(宮守)、3位＝菊池琥太郎(遠野)、鈴木優晟(遠野)

◎小学男子1・女子2年 1位＝照井鷹斗(宮守)、2位＝菅原昊生(宮守)、3位＝小笠原優愛(遠野)、藤原真緒(宮守)

◎男子 ▷小学2年 1位＝菊池快(宮守)、2位＝宮澤圭汰(上郷)、3位＝小野寺汰月(遠野)、守口佳希(遠野) ▷小学3年 1位＝松山怜生(宮守)、2位＝佐藤真治(上郷) ▷小学4年

1位＝小田島史門(上郷)、3位＝菊池尚汰郎(上郷)、多田悠馬(上郷) ▷小学6年 1位＝小田島佑門(上郷)、2位＝八重樫俊平(宮守)、3位＝照井龍之介(宮守) ▷中学 1位＝細川大輔(遠野)、2位＝小嶋心誠(遠野)、3位＝菊池瑠偉(遠野)、浅沼壮真(宮守)

◎女子 ▷就学前 1位＝高橋わかば(遠野)、2位＝藤原真緒(宮守) ▷小学3年 1位＝小嶋日妃音(遠野)、2位＝小嶋日妃奈(遠野)、3位＝阿部ゆい(遠野) ▷小学4年 1位＝長山美空(遠野)、2位＝宮澤花畝(上郷) ▷小学6年 1位＝金野綾乃(上郷)、2位＝多田菜(上郷)、3位＝加藤みちか(上郷)、石懸望未(遠野) ▷中学 1位＝綾織舞(遠野)、2位＝菊池亜美紗(上郷)、3位＝中世古ひかり(遠野)、浅沼花南(宮守)

【団体組手】

▷小学男女 1位＝上郷Bチーム、2位＝上郷Dチーム、3位＝上郷Cチーム、遠野Aチーム ▷中学男子 1位＝遠野チーム、2位＝宮守チーム、3位＝上郷チーム ▷中学女子 1位＝遠野チーム、2位＝宮守チーム、3位＝上郷チーム

【防具付】

◎小学男子1・女子2年 1位＝松山虎雅(宮守)、2位＝藤原真緒(宮守)、3位＝照井鷹斗(宮守)、菅原昊生(宮守)

◎男子 ▷小学2年 1位＝宮澤圭汰(上郷)、2位＝櫻井颯哉(上郷)、3位＝守口佳希(遠野)、菊池快(宮守) ▷小学3年 1位＝松山怜生(宮守)、2位＝佐藤真治(上郷) ▷小学4年 2位＝菊池俊(宮守)、3位＝藤原拓真(宮守)、多田悠馬(上郷) ▷小学6年 1位＝照井龍之介(宮守) ▷中学男子 1位＝小嶋心誠(遠野)、2位＝細川大輔(上郷)、3位＝菊池瑠偉(遠野)、幸内信吾(上郷)

◎女子 ▷小学3年 1位＝小嶋日妃音(遠野)、2位＝小嶋日妃奈(遠野) ▷小学4年 1位＝長山美空(遠野)、2位＝宮澤花畝(上郷) ▷小学5・6年 1位＝金野綾乃(上郷)、2位＝照井楓(宮守) ▷中学 1位＝浅沼花南(宮守)、2位＝中世古ひかり(遠野)、3位＝吉田有輝(宮守)、浅沼伊織(宮守)

◆スピードスケート第62回県高校選手権大会(12月15・16日、県営スケート場) ◎高校女子500㍎ 1位＝濱田芽生子(盛岡農高2年)、1分29秒61(1回目44秒61、2回目45秒) ★大会新

◎高校女子1000㍎ 1位＝濱田芽生子(同)、1分32秒11 ★大会新

お詫び

広報遠野12月号P30に掲載した「小嶋日妃音」さんは「日妃音さん」の誤りでした。お詫びして訂正します。

★ 遠野小、青笹小PTAが県教育表彰を受賞 ★



(左)皆川耕助遠野小学校長と菊地凱翔児童会長 (右)吉野新平青笹小学校長と工藤和信PTA会長

平成24年度の岩手県教育表彰を学校教育分野で遠野小学校が、社会教育分野で青笹小学校PTAがそれぞれ受賞しました。

遠野小は歌・踊り・演技で遠野物語の世界を表現する「遠野の里の物語」を、昭和57年から30年間継続して取り組んできました。平成21年には『遠野物語』発刊100周年関連イベントで市民体育館での公演、平成23年には国立劇場でも公演し、



遠野小児童による「遠野の里の物語」

遠野の歴史や文化を全国に発信したことが高く評価されました。

青笹小PTAは長年にわたり地域教育協議会や地区学校保健会など地域と連携し、六角牛登山や校舎周辺の花壇整備・清掃など健全育成活動に取り組むとともに、郷土芸能である青笹しし踊りの伝承活動など多分野に尽力したことが評価されました。



地域のまつりなどで青笹しし踊りを継続している

小友中学校の水質調査へ知事感謝状を贈呈



感謝状を贈呈される菊池愛利子生徒会長(左)

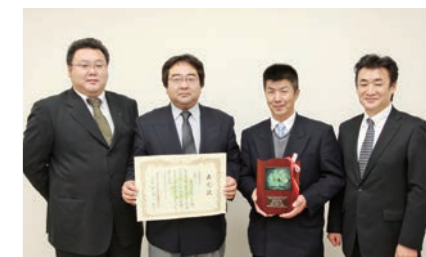
水生生物調査をする生徒

長年の水生生物による水質調査が認められ、岩手県知事から小友中学校へ平成24年度水生生物調査の感謝状が贈られました。小友町内を流れる4つの河川の水生生物を調査するもので、平成12年から継続して実施。遠藤宗俊校長は「生徒たちの長年の活動が認められ、今後の励みになる。小友地域の環境保全のリーダーという意識を持ち、合併しても継続してもらいたい」と願いを込めました。なお、昨年は小友小学校が同賞を受賞し、地域が一丸となって環境保全に取り組んでいます。

県PTA広報コンクールで最優秀賞を受賞！

鱒沢小学校PTA(佐藤清人会長)が作成する広報紙「ふきのとう」が、平成24年度県PTA広報コンクールで最優秀賞を受賞しました。同コンクールでの同賞の受賞は市内初。環境整備活動や復興支援活動など学校と地域が連携した活動を細かく取り上げていた点や、見やすいレイアウトが評価されました。

でこなし、鱒沢地区に全戸配布されている地域密着型の広報紙です。佐藤会長は「被災地への物資支援、被災地の学校とのスポーツ交流活動ほか、地域やPTA活動にスポットを当てて掲載しました。また内容を充実させるため、保護者へのアンケート調査も実施。今後もさまざまな話題を取り上げ、学校と地域の架け橋になるような広報紙にしたい」とさらなる飛躍を誓いました。



鱒沢小学校PTAの皆さん

(右から)佐藤清一鱒沢小学校長、佐藤清人同小PTA会長、菊池錠二副会長、遊田善幸副会長



東日本大震災での復旧活動に従事した自衛隊へ、さまざまな形で支援した岩手県隊友会花北支部遠野分会(隊員23人、山陰協学会長と菅原信男さんへ、防衛大臣から特別感謝状が贈られました。同分会は市内在住の自衛隊OB隊で、3月11日、各地から集結する自衛隊を運動公園まで誘導したり、横断幕を道の駅遠野風の丘などに掲げ、被災地へ向かう隊員を激励するなどの支援をしました。菅原さんは東日本大震災で被災し、平成23年10月に釜石市から上郷町に避難。釜石市に在住していた際、甲子町から撤収する自衛隊へ、趣味で作っている切り絵を送りました。山陰会長は「OBとしてできることをしようと、分会で話し合い活動してきました。今後あらゆる災害で活動する自衛隊をサポートできる体制を整えたい」と継続的な支援を誓いました。菅原さんは「寒い日も暑い日も私たちのために懸命に働いてくれた隊員の皆さんに、せめて気持ちだけでも届けたいと思ひ差し上げました。こちらこそ感謝しています」と自衛隊員へ感謝を込めて話していました。

岩手県隊友会遠野分会と菅原信男さん(上郷町)へ防衛大臣から特別感謝状



遠野高校女子弓道部

県大会で遠野高校女子弓道部が準優勝 10月12・13日、県営武道館

全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選で、遠野高校の女子弓道部(部員11人、飛内瑠夏部長)が団体の部で準優勝に輝き、1月27日に青森県弘前市で開催される東北大会出場を決めました。本大会には35校が出場。団体戦は3人で行われ、1人4本計2回弓を放ち、的に命中した本数を競うもの。順調に予選を勝ち進み、決勝リーグでは盛岡三高と一戸高校に競り勝ち、決勝では不来方高校に惜しくも敗れました。

2年生主体の新体制となってからは、休日は1人1日100射の練習に打ち込んできました。飛内部長は「練習では試合と同じ気持ちで臨み、集中力を磨いてきました。男子チームと試合形式で練習してきたことも準優勝につながったと思います。東北大会では丁寧に放つことを心掛けて臨みたい」と東北大会での活躍に向け、意気込みを話してくれました。



いわて周産期医療フォーラムを開催

東日本大震災を踏まえ、安心・安全な出産環境と周産期医療の推進を考えるフォーラムを開催します。入場は無料です。お気軽にお越しください。

2月3日(日)
13時45分～16時
あえりあ遠野

- ▷報告 「岩手県周産期医療情報システム”いーはとーぶ”による地域連携」
…小笠原敏浩氏(大船渡病院副院長、遠野市助産院監督医)
- ▷講演 1 「宮城県における震災前後の周産期統計を比較して」
2 「原子力災害後の福島県の妊産婦に関する現状と今後の課題」
3 「遠野-大船渡-釜石の小さな命を守る周産期医療連携」

問い合わせ

市保健医療課(☎62-5111)

青春 セイシュン のトーク!

菊池 瑞樹さん(19歳) =松崎町=

きくち・みずき

情熱的な長距離ランナーは 若さと元気みなぎる19歳

元気がみなぎる瑞樹さんは昨年4月に社会人になったばかりのフレッシュマン。勤務先の遠野精器株では、時計の部品づくりに従事しています。間もなく10カ月を迎える職場に「優しく接してくれる先輩方に囲まれ感謝しています。腕を磨いてたくさんの仕事を任せてもらえるようになりたい」と意気込んでいます。

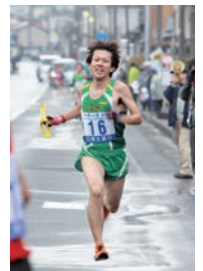
高校時代は陸上の長距離走に明け暮れ、夏休みの合宿では1日60*もの距離を走るほどの入れ込みよう。就職後もトレーニングを欠かさず、昨

年11月に開催された日報駅伝大会では、初出場ながらも区間9位と好成績を収めました。

休日は友人などと盛岡ヘドライブ。カラオケやボウリング、ショッピングを楽しむなど若さであふれています。このほか駒木しし踊りに参加するなど地域的な一面も。今後の目標は「さまざまな駅伝やロードレース大会に出場し、優勝すること」ときっぱり。今後の活躍にも注目です。

◆性格は…負けず嫌い

◆理想の女性は…一緒に居て落ち着ける人



日報駅伝に出場した瑞樹さん。50*走も5秒台と俊足の持ち主です

ホット

ひっこき

鱒沢小学校PTAの皆さまが作成する広報紙「ふきのとう」が、県で最優秀賞を受賞しました※P.26参照。子どもたちや地域の活動に密着した心温まる内容で、読んでいて気持ちが安らぎます。広報遠野も読者の皆さまにそう思ってもらえるよう今月号から既存ページの改良や新コーナーを設置しました。今年もよろしくお願いたします。(熊谷)

子どもたちの活躍を取材する機会がたくさんありました。日頃の練習の成果を堂々と発表する子どもたちが舞台上に立つまで、努力に努力を重ねてきたことでしよう。ファイナダー越しに映る姿がにじんで見えました。本年も、市民の皆さまの活躍と感動をお伝えできるよう頑張ります。取材先ではどうぞよろしくお願いたします。(菊池)